

市政報告

母谷 風

vol.26

平成19年(2007年)1月
発行 母谷たつりを育てる会
編集 岡田 孝

<http://www.motani.jp>



広島市議会議員
母谷たつりの

謹啓

皆様、新年明けましておめでとうございます。平成になつて早や19回目の新年をご家族お揃いでお迎えのことと心からお喜び申し上げます。さて、昨年は日本という国の将来を脅かす重大な事件が発生いたしました。

日本は戦後、不戦の誓いを立て、その復興と国際貢献に努力して参りましたが、北朝鮮はこうした姿勢を考慮することなく7月にミサイル発射実験を、続いて10月には地下核実験を強行し核保有国であることを主張しました。

これは国際社会から二斉に非難を浴びる事になり、外交的に八方塞りの状態となりました。

拉致問題でその主権を侵されている日本をはじめ北東アジアの安定と平和の緊急行動である6カ国協議の場では1年ぶりの再開に漕ぎ着けたものの、実質的に何の成果を挙げることもなく決裂ムードのまま閉会したことは、さらなる先行き不透明を示唆しており、今後の見通しに対する欲求不満と緊張感が、各国の苛立ちを増幅させる結果となっております。

国内では5年半におよぶ小泉内閣を引き継ぎ、9月26日には安倍晋三内閣が発足いたしました。直後の中韓歴訪やこれまでの歴代内閣が政治課題と位置づけながらも達成できなかった教育基本法の改正や防衛庁の省昇格法案を特別国会で意図も簡単に成立させましたが、

一昨年の郵政民営化法案に反対し、自民党を離党した現職議員の復党問題では内閣支持率を低下させてしまいました。

この問題について私は慎重の上にも慎重に対処する必要があると考えており、安倍首相の行動を注視してまいりましたが、国民の評価はなかなか厳しい結果となっております。

一方で、憲法改正問題や信頼される教育、社会保障、経済政策など今後の政治課題解決のためには止むを得ない苦渋の決断であったとの見方も広がって

人それぞれの幸せを...

(広島護国神社)



おり、今年の抱負に「有言実行」を掲げた安倍首相の今後の指導力に期待が寄せられています。

広島東洋カープでは昨春、審判の判定を不服として敢然と立ち上がった我らがブラウン新監督の登場は『1塁ベースを投げる』という個性的で奇想天外な抗議がプロ野球ファンの心をアツと驚かせました。

就任1年目の昨年は新人王の梵英心選手等若手選手の育成に力を注ぎ、100打点を達成した新井貴浩選手を真の大黒柱に育てるなどその手腕が大いに期待されています。

また、FA宣言することなく広島残留を決めた黒田博樹投手の気力はカープファンを心底喜ばせ、信頼関係の大切さを教えてくれました。今シーズンは闘志溢れる個性派監督と三本柱が大活躍してくれることを楽しみにしています。

さて、広島市議会第6回定例会は平成18年12月7日から19日まで13日間の予定で開催され、予算案2件、条例案8件、その他の議案13件が上程されました。補正予算では災害復旧関係や財政調整基金への積立金など一般補正を含め21億2千904万3千円が原案通り可決されました。この結果、全会計の総予算規模は1兆1千720億2千95万1千円となりました。

ただし、市長など特別職の給与に関する条例の一部改正(第140議案)

については議案質疑を中心に議論が白熱しました。これは任期満了を2月に控えた秋葉市長に対し、

1期毎に支払われる退職金を算定するにあつての計算式が在職月数を49ヶ月から48ヶ月に変更する内容のみとなっていることへの批判でした。

財政非常事態宣言を自ら発し、財政健全化の先頭に立つ市長としての

政治姿勢を問われるものであり、且つ政令市15都市のうち広島市だけが勤続年数4年分の524万円を特別に加算する計算方法に市民の理解は到底得られないと判断した議会側は条例案の修正へと動きました。これを察知した市長側は、これ以上混乱すれば市長選挙を前にして得策ではないとの思惑からこの第140号議案を最終的に撤回しました。

今後改めて市長サイドが検討を加えた後、次回定例会で再提案されるものと考えておりますが、再提案の内容次第ではさらなる紛糾も予想されています。

なお、今春は統一地方選挙の年ですが、広島市では昭和50年1月8日、当時の山田節男市長の死去に伴う市長選挙以来、2月23日が市長就任の日となつておりましたが、今回は公職選挙法第34条の2(90日特例)を摘要し、36年ぶりとなる市議会議員、県議会議員と同じ4月8日に市長選挙を行うことになりました。

したがって例年であれば新年度予算の審議は2月から3月末まで行われますが、今年の当初予算は義務的経費などを中心とした骨格予算として年初から2月21日まで市長任期の満了ギリギリまで行うことになっていきます。

課題山積の広島市ですが、私は今後とも「明るく元気で魅力ある広島」の実現を目指し、渾身の力を傾注して参る所存でございますので一層のご指導を賜りますようお願い申し上げます。

本年が皆様にとって幸多き健やかな年でありますよう心からご祈念いたしております。

広島市議会議員 母谷龍典 謹白

いい汗流そう！いい笑顔つくろう！

あなたの声を聞かせてください

私が直接ご返事します

ご意見
ご要望は
母谷たつりの
ホットライン

info@motani.jp

広島市民病院&舟入病院

内科夜間救急医療体制が 変わりました!!



1. 目的

内科の夜間救急診療を毎日実施している舟入病院では、救急患者の増加やそれに伴う内科医師の確保が困難という現状に加え、重篤患者を含めた他の医療機関への転送など多くの課題を抱えています。

一方、広島市民病院では救急機能強化や救急患者の受け入れ窓口一元化が求められており、今後は両病院が連携し、こうした問題解決を図るとともに市立病院としての機能強化向上を目的に再編しました。

2. 再編内容

夜間救急患者の舟入病院への集中を緩和し、高度な医療機能を有する広島市民病院で

迅速に対応するため内科夜間救急を舟入病院から広島市民病院へ全面移管します。

但し、昼間通院することが難しい人のために

舟入病院では内科の一般診療時間を午後9時まで(受付は午後8時まで)延長します。

また、年末年始はこれまでどおり12月31日から1月4日まで行うこととしています。

広島市民病院ではこうした措置に伴い、東棟1Fに救急患者の受け入れ窓口として新たに救急診療部を設置し、毎日24時間365日体制で診療を行います。

3. 実施時期

平成18年12月25日(月) 午前8時30分から



湯来[★]ロッジが生まれ変わります

広島市では現在の国民宿舎湯来ロッジに替えて公設民営方式による新たな交流施設整備事業を進めています。

設計業者の選定に当たってはプロポーザル(企画提案競争)方式による応募15社の中から「広島市湯来地区交流施設整備工事基本設計者選定審査委員会」が株式会社村田相互設計(広島市中区)の提案を採用しました。

施工会社は今後一般競争入札で決定する予定ですが、完成後は指定管理者制度を基本とする運営を検討しており、平成21年春の開業に向けて準備しています。

概算事業費 14億6千万円

スケジュール 平成18(2006)年度 基本設計、地質調査
平成19(2007)年度 実施設計、用地取得、建設工事
平成20(2008)年度 建設工事

施設機能 ①宿泊施設 ②温浴施設 ③レストラン ④交流機能



湯来地区交流施設
基本設計企画提案競争1位の
イメージ図

母谷たつのもり 事務所

TEL. 504-2443
FAX. 244-1419

〒731-5114
広島市佐伯区美鈴が丘西5丁目17番12号
TEL. 929-9002 FAX. 929-9002

E-mail info@motani.jp

母谷たつのもりホームページ
http://www.motani.jp
広島市議会ホームページ
http://www.city.hiroshima.jp/gikai/index.html

